

世界で競い成長する大学経営のあり方に関する研究会の設置について

1. 設置趣旨

科学技術・イノベーションの歴史を俯瞰してみると、戦後直後の「リニアモデル」の時代から、「イノベーション・エコシステム」の時代を経て、「科学とビジネスの近接化」とも言える新たな時代に入っている。

そんな中、科学技術の基盤となる大学についても、諸外国の大学があらゆる財源を活用し、イノベーションのハブとしての魅力を高め、産業界の大型投資を国内外から呼び込んでいる。

世界においては、産学連携を含め、寄付や基金運用等、多様な財源を活用し、研究開発や人材等に戦略的に投資をすることで、科学力を含めた大学の価値を向上させ、グローバルに次の外部資金を呼び込んでいく、という成長の好循環を実現できた大学が益々競争力を高めている。我が国も産学官が連携することにより、「世界で競い成長する大学」を実現する必要がある。

こうした観点から、今後我が国の大学が、世界で競い成長していく上で必要な取組を検討するため、産学の有識者にご議論いただく場として世界で競い成長する大学経営のあり方に関する研究会（以下「研究会」という。）を開催することとし、「世界で競い成長する大学」の経営のあり方を示すとともに、今後の政策に反映していく。

2. 実施方法

研究会の構成員は、資料2のとおりとする。座長は、必要があると認めるときは、構成員の追加又は関係者の出席を求めることができるものとする。

3. その他

- ・ 本研究会の公開について
率直かつ自由な意見交換を確保するため、原則として、公開しない。
- ・ 議事概要及び資料の公開について
議事概要については、発言者を明示しない形で案を事務局において作成し、参加者の確認を受けた上で公開する。
資料の取扱については、事務局作成資料については原則として公開するものとする。参加者の提供資料等、事務局作成資料以外の資料についても、原則として公開するものの、機密情報等が含まれる場合には、資料提出者と相談の上、扱いを決定する。